

みんなで作る
新青梅図書館

あたらしい図書館で やってみたいこと!

～ワークショップの参加者募集～

青梅市では青梅駅周辺の活性化を図るため、令和10(2028)年度に青梅図書館を駅前に移転する予定です。

新青梅図書館は、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。

ワークショップ(意見交換会)では、「図書館の理想の体験やシーン」を想像したり、「理想の実現に向けたアイデアや私たちができそうなこと(関わり方)」について、皆さまと一緒に考えます。

青梅駅の新たな拠点として愛される図書館になるよう、ぜひご参加ください!

開催日時

2026年

7月12日(日)

13:30～16:00

13:00 受付開始

対象

青梅市内在住・在勤・在学の方

- ※高校生以上
- ※お子様連れでの参加も可

定員

申込制 / 30名

- ※応募多数の場合は、年齢や居住地のバランスを踏まえて抽選

申込方法

申込フォームに、氏名・住所・電話番号・メールアドレス等をご記入のうえお申し込みください。

締切 6月30日(火)まで

申込フォーム



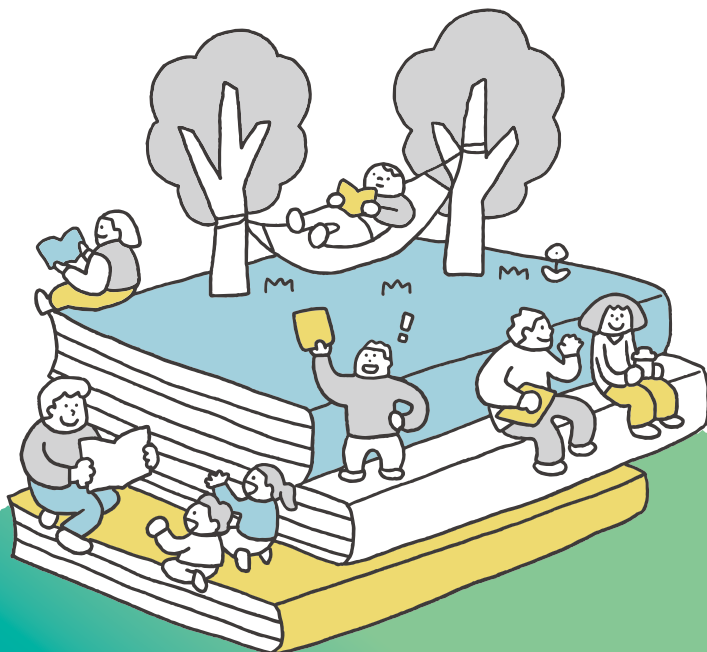
設計の詳細は、「新青梅図書館(仮称)基本設計概要書パブリック・コメント」のウェブサイトをご覧ください。



場所

青梅市役所2階
喫茶コーナー

- ※無料駐車場あり



主催・問合せ

〒198-8701

東京都青梅市東青梅1-11-1

青梅市教育委員会 生涯学習部 文化複合施設等整備担当

電話 0428-22-1111(内線2396)

新青梅図書館（仮称） 基本設計概要書

コンセプト

① 本と出会い、人と出会う

新たな本と出会える場

新たな本と出会えるように、この図書館の本は貸出せず、ここに来て見て読んでもらう仕組みとします。（他館の予約本の貸出、返却は可能とします。）



新たな知との出会い

「静」のエリアの出入口近くに特集本コーナーをつくり、新たな知識と出会うきっかけをつくります。



デジタル化

図書館のデジタル化を進め、タブレットを用いる電子図書による新聞・雑誌閲覧の試験導入をおこないます。



中高生の利用促進

需要の多い学習スペースをふんだんに用意し、中高生等の利用を促進します。



多様な使い方に対応

数人から10数人まで対応するラーニングコモンズ、ガラスで仕切られたグループ学習室、独立した会議室を設けて、読書以外の多様な使い方にも対応します。



② 居心地の良い空間の形成

カフェの導入

「動」のエリアに、図書館と相性の良いカフェ（または軽食ショップ）を設置します。施設内は全て飲み物を持ち込み可とします。



Wi-Fiの導入

全館無料のWi-Fiを導入し、調べものや情報収集を効果的におこなうことができますようにします。



自然を感じるグリーン

人の癒しや居心地の良い空間が重視される今、自然を感じるグリーンが広がる場を提供します。



多摩産材の導入

地域で育った木材（多摩産材）を利用します。地域産業の活性化や脱炭素化社会実現に貢献します。



多様な読書ができる場

読書に没入できるように一人で利用できる席を多くして、視線にも配慮した計画とします。また、非日常感のある芝生やハンモックが多様な読書スタイルを提供します。



③ 青梅の新たな発見！地域のつながりを作る

青梅を発見できる場

市内在住者だけでなく観光客も立ち寄り、そこに居るだけで青梅を発見できる場とします。多摩川、釜の湖公園、青梅の森、風の子太陽の子ども広場、鉄道公園等地域の魅力的な場所を大型モニターで紹介します。



まちの活動が集まる場

「動」のエリアは、多様な世代が集まりやすい空間として、青梅に関わる様々なイベントを開催して、まちなかの新たな活動の拠点となることを目指します。



人とまちをつなげる場

青梅大祭や青梅マルシェ等のイベント、S&Dたまぐーセンター等の公共施設、青梅市観光協会、（一社）こーよ青梅等と連携し「人が内外から集まってくる賑わいを創出」する場、「人と人、人とまちをつなげる役割を担う」場としていきます。



ゾーニングの考え

新青梅図書館

「自然を感じるグリーンが広がる室内」
「温かみのある多摩産材」

「落ち着ける雰囲気を作るBGM」
「飲み物を飲みながらくつろげる空間」

